

新たな小学校への歴史の継承について

第1回の協議会において、デジタル保存や卒業生への返却等の具体的な手法についてワークショップ形式で議論しました。ご意見を踏まえて学校長と事務局で協議し、継承方法の案を整理しました。

1 第1回ワークショップでのご意見（再掲）

【デジタル保存】…（A）

- 基本的にすべてデジタル保存でいい。
- 業者を利用して解像度等が良いものを残してほしい。
- 設置されていた場所やその背景がわかるようにしてほしい。
- 校舎図や、校舎の様子ができる形で残してほしい。
- ホームページでの閲覧や、学校に行けば見ることができるようにしてほしい。

【卒業生へ返却】…（B）

- 卒業生みんなで制作したことや、個人を特定できるか不明なこと、全員に返すことができないこともあり、公平性を考えると返却は難しいのでは。
- 特定ができないもの、既にもうその人がいないなどの問題はあるが、全てとはいかないが返せるものがないか考えていきたい。
- 卒業生が学校に来てもらうのもいいのでは。卒業生にも思い出していただきながら、これからの新しい学校に向けてエールを送っていただく意義はある。

【施設配置を考慮したうえで継承方法を検討】…（C）

- 記念碑、二宮金次郎像、旧門柱は、成瀬地域の学校が150年前から歩んできた長い歴史の中での財産として残したい。

【施設配置を考慮し、挿し木や新たに植樹を検討】…（D）

- 記念樹（カエデの木）は、挿し木や種を子どもたちに配るなどを検討してほしい。
- 材木としてベンチ等の何かしらの形に残してほしい。
- 新たなシンボルツリーを1期生の子どもたちが植樹するのもいいのではないかな。

【設置場所を考慮し移設を検討】…（E）

- 校歌（歌や歌詞が書かれている額等）を現物保存したい。
- 資料室にある農具や生活用具、民具、写真資料は、教材としての価値を踏まえて優先順位を決めて残したい。
- 学校以外の保存先、受入先も調べて、可能であればそこにも残したい。

【その他】

- 現物保存をする際には、劣化が進まないように配慮してほしい。

2 継承方法（案）について

第1回の協議会でのご意見を踏まえて学校長と事務局で協議し、以下の通り、継承方法の案を整理しました。

(A) デジタル保存（校舎・制作物・記念碑など）

校舎の外観および内観や物品等については、デジタル技術を活用して、以下の内容で保存し、視聴等ができるようにします。

- ① 校庭内外の様子を、360度カメラでデジタル保存し、VR ツアーができるようにする。
- ② 校舎内外をドローンで撮影し、動画を制作する。
- ③ 物品等を写真で保存する
- ④ 上記①～③で保存した映像等は、新たな小学校のホームページ等から、いつでも視聴等できるようにする。

(B) 卒業生へ返却（卒業制作）

「卒業生への返却」については、ご意見を踏まえ引き続き学校長と事務局で協議し、整理できた段階でご報告します。

(C) 記念碑（南第二小石碑等3点）

前回協議会のとおり、石碑等の3点を残すようにPFI事業の要求水準書（案）に反映しました。

（要求水準書案 P61 より抜粋）

⑨「別紙7 既存樹木伐採図」に緑色で○を付している3つの記念碑等を残すこと。工事計画等の兼ね合いから、そのまま残置できない場合は一旦撤去し保管したうえで、再設置場所は別途市と協議すること。

(D) 記念樹（南第二小楓の木）

① 既存樹木を残す

種から芽を出すことを確認できたことから、新校舎の設計に影響しない場所へ種を植える。（写真参照）

② 既存樹木を伐採・加工して形として残す

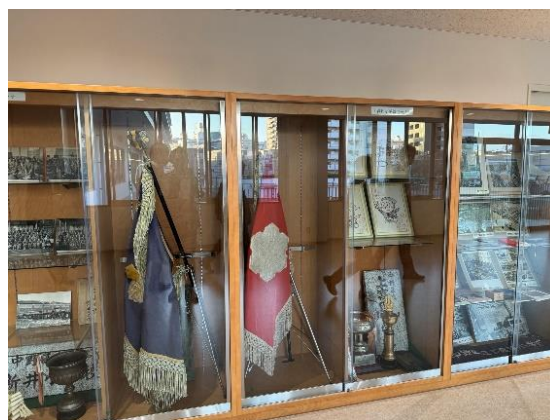
楓の木を伐採し、加工品（校名看板等）を制作し新校舎に設置する。加工品については市教委及び学校で協議し決定する。



(E) 設置場所を考慮し移設場所を検討（校歌歌詞額縁・歴史資料等）

校旗や開校当時の写真といった、学校が歩んできた歴史が感じられる物品については、学校の判断によって現物を保存します。

また、現物保存する物品の展示場所について、新たな学校の壁面等のスペースを有効活用し、児童や来校者が常時閲覧可能な場所での展示を想定しています。詳細は、新校舎の設計を踏まえて判断します。



ショーケースによる展示の事例（中野区立令和小学校）

3 検討スケジュール

今後の検討スケジュールは以下のとおりです。

年度 月	2023年度				2024年度		
	12月	1月	2月	3月	上旬	中旬	下旬
南二小	継承方法の整理、検討	継承に向けた準備 (物品の整理等)			校舎デジタル保存		お披露目
南成小					校舎デジタル保存		

4 本日のワークショップについて

デジタル保存を行うにあたって、撮影すべき場所や物品について、ワークショップ形式でご意見を伺います。

今回頂いたご意見や、学校からのご意見などをもとに、学校長と市教委における協議によって、撮影箇所や撮影方法を決定します。

ワークショップでの検討事項

- 記録しておきたい場所・物品を学校別に検討します。
- 記録方法の詳細な手法についても、例えば、「通常の写真で撮るべき」、「この場所はVRで見られるようにするべき」などのご意見があればお聞かせください。